

応急給水栓取扱説明書

松山市公営企業局

目次

- ① 施設概要
- ② 備品
- ③ 準備
- ④ 水質確認
- ⑤ 組み立て
- ⑥ 後片付け

①施設概要

(施設は大きく分けて以下の2施設です。)



○応急給水栓

応急給水の元栓です。



○防災ベンチ

応急給水に必要な備品は全てこの中に収納されています。

②備品

(応急給水に必要な以下の7備品が防災ベンチに収納されています。)



仮設給水栓



飲料用ホース



ハンドル



給水袋(200袋)



コップ



水質検査用試薬



炊き出し用金網

③準備



防災ベンチから応急給水に必要な備品を取り出します。



防災ベンチは盗難防止の為、両サイドに鍵がかかっています。

※南京錠の鍵は学校、地元自主防災組織の代表者(複数名)、企業局で管理しています。

③準備



鍵を外し、プレートをのけるとネジで固定されています。

※プレートはあくまでもカバーです。
固定はネジでされていますので注意してください。



ネジは手で回りますが、回りにくい場合はコイン等を使用して回してください。

③準備



ふたを外すと中身はこうなっています。



ホースは食品衛生法に適合しており、飲用に使用が可能となっています。

※ホースを使用した後はクリーニングが必要となります。訓練等での使用は控えてください。

④水質確認



キャップ

水の勢いを利用して管内を洗浄し、水質を確保します。ハンドルを使って**ゆっくり**と水を出してください。

※給水栓の挿し口保護の為にキャップが付いています。キャップは外して**ゆっくり**放水してください。



反時計回りで開きます。
時計回りで閉まります。

※給水栓の上部にOPENのOの文字が矢印と共に表記してあります。

④水質確認



水の勢いに注意して放水してください。

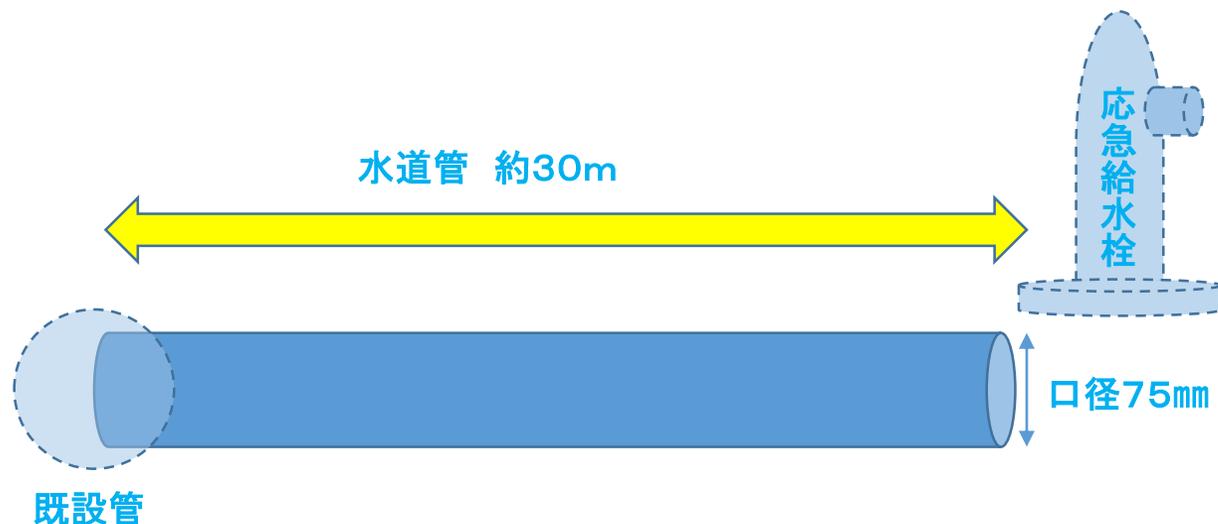
※特に訓練等で使用する場合は勢いが強すぎると周辺の住宅に影響が出る場合がありますのでご注意ください。



放水の目安は約30cm程度、大人の靴で一足分程度です。

※参考として上の写真で5m³/h程度の放水量です。

④水質確認



管内水量計算式

$$75\text{mm}(\text{口径}) \times 75\text{mm}(\text{口径}) \times 3.14(\text{円周率}) \div 4 \times 30\text{m} \\ (\text{延長}) \times 3(\text{回転}) = 0.4\text{m}^3$$

$$0.4\text{m}^3 \div 5\text{m}^3/\text{h}(\text{放水量}) \times 60\text{分} = 4.8\text{分} \quad \text{約5分}$$

管内水量が3回入れ替わる程度の量を洗浄量として放水してください。**目安は5分程度の放水です。**

④水質確認



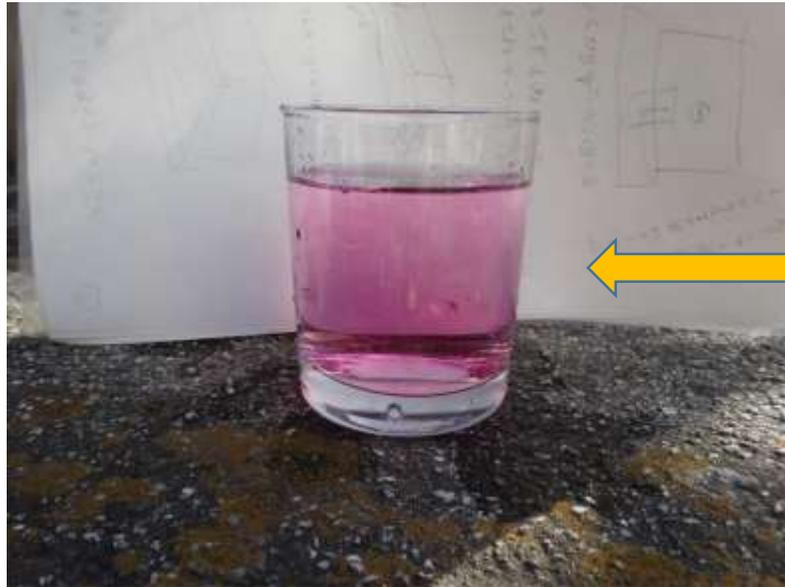
水をコップに取って塩素の確認をしてください。

※水の量はコップに1杯程度でかまいません。



備え付けの水質検査用試薬を1袋入れて軽くゆすってください。

④水質確認



塩素があればピンク色に変色します。

この写真の表を目安に塩素濃度を判断してください。

水道法施行規則では0.1mg/l以上と定められています。

※左の写真のコップの水は0.4mg/l程度の塩素濃度であると認められます。

④水質確認



再度、水をコップに取り濁り(無色透明)、臭い(無臭)、味(無味)に異常がないことを確認してください。

※必ず塩素の確認を行ってから味の確認をしてください。

⑤組み立て



仮設給水栓の足を開いて組み立ててください。

※口の開いているほうを応急給水栓に向けて組み立ててください。



ホースの長さが5mになっています。適度な距離を確保してください。(4m程度)

⑤組み立て



※蛇口は縦位置が閉まった状態です。



※反対の蓋は外さないでください。複数の仮設給水栓がある場合の連結用となっています。

⑤組み立て



ホースを取り付けます。(応急給水栓側)

※軽く押し込むとカチッと音がします。念のため取付完了後、引っ張って確認してください。



ホースを取り付けます。(仮設給水栓側)

※軽く押し込むとカチッと音がします。念のため取付完了後、引っ張って確認してください。

⑤組み立て



※出はじめは、ホース内や仮設給水栓内の空気が出る為、仮設給水栓は開の状態にしておいてください。



ホースの取り付けが完了したら仮設給水栓の蛇口から水が少し出る程度まで**ゆっくり**と水を出します。(反時計回り)

⑤組み立て



空気が抜けて全ての蛇口から水が出たら蛇口を閉めて、応急給水栓を**ゆっくり**開けてください。(目安は一回転)これで応急給水が可能となります。

※応急給水栓を開ける際に、水の圧力により仮設給水栓が倒れる恐れがありますので、必ず誰かが支えた状態で応急給水栓を開けてください。



※シューという水切り音がしなくなるまで開けてください。(目安は概ね一回転程度です。)

応急給水栓は凍結防止の為、開きが少ないと内部の水が下から抜け出る仕組みになっています。

⑤組み立て



※何らかの**はずみ**でホースが抜けてしまっても焦らず、**ゆっくり**応急給水栓を閉めてください。
急な開閉は周りの配管に影響を与える場合がある為、**絶対に行わない**でください。



※下の赤い栓は応急給水栓の修理の為の栓です。
応急給水栓が破損し、水が噴き出している場合以外には**触らない**でください。

⑥後片付け



応急給水栓を閉めます。

※開ける時の反対の時計回りに**ゆっくり**閉めてください。



応急給水栓を閉めたら必ず仮設給水栓を開けて閉の確認をしてください。

※水の残圧により吹き出る場合があります。

⑥後片付け



ホースを外します。(仮設給水栓側)

※網掛けの部分の金具を矢印の方向に押し込みます。



カチッというまで押し込んだら、抜けます。

⑥後片付け



ホースを外します。(仮設給水栓側)

⑥後片付け



ホースを外します。(応急給水栓側)

※網掛けの部分の金具を矢印の方向に引きます。



カチッというまで引き込んだら、抜けます。

⑥後片付け



ホースを外します。(応急給水栓側)



仮設給水栓の足を折りたたみます。

⑥後片付け



ホースを丸めます。



なるべく乾かした状態で防災ベンチに収納してください。